

大正七年度事業報告

鹿兒島縣水產試驗場

大正七年度鹿兒島縣水產試驗場事業報告

目次

漁撈部

鯉餌料鯉漁業試驗

附、鹿兒島縣、鯉

鱖延繩漁業試驗

鮪延繩漁業試驗

小型發動機船漁業試驗

一、鯖釣漁業試驗

二、突捕漁業試驗

三、珊瑚新漁場調查

四、旗魚延繩漁業試驗

五、潮物延繩漁業試驗

製造部

鯉節製造試驗

鹿尾菜製造試驗

六五

煮乾鱷製造試驗

八二

布糊製造試驗

八三

養殖部

一七

海蘿養殖試驗

一七

海苔養殖試驗

一八

海人草蕃殖豫備試驗

二一

調查部

二三

海洋調查

二三

一、黑島口之島橫斷觀測、鯉漁況

二三

二、鹿兒島灣內觀測

四三

三、東西海面橫斷觀測

六七

講習指導

七三

石油發動機關士養成講習、船匠講習、鯉節製造講習及設備改造指導、蒲鉾製造講習

習、布糊製造講習、龍蝦移殖指導、蛤移殖指導

大正七年度鹿兒島縣水產試驗場事業報告

漁撈部

鯉餌料鯿漁業試驗

試驗ノ趣旨

本試驗ハ鯉餌料鯿ノ供給ヲ豐富ナラシムルタメ其漁法ノ改良ト新漁場ノ開發ヲ圖ルヲ目的トシ大正

元年度ヨリ着手シ同年ハ焚入ハ田網ニ由リ新漁場(片浦灣)ヲ同二年ハ揚繰網及碇張網ノ方法ヲ試驗シ同三年ヨリ揚繰網ニ由リ鹿兒島灣口附近及出水郡沿海ニ試驗シ來レルモノニシテ逐年漁獲多ク鹿兒島灣口ノ漁場ニ在リテハ當業者中從來ノハ田網ヲ廢シ本漁具ヲ使用スルモノ本年春季迄ニ五張ニ達シ是亦好良ノ成績ヲ收メツ、アルヲ以テ本年度ハ春季灣口ノ漁場ハ誘掖指導ノ目的ニテ當業者ニ貸與試驗トナシ秋季出水郡ノ漁場ハ前年ト同シク共同試驗トシ實行セリ

試驗方法組織

前年度來異ルトコロナク揚繰網ハ網目二十節及二十三節ニシテ網ノ全長ハ浮子方百六十八尋高サ魚取三十六反翼網最高三十八反ニシテ集魚燈ニテ魚群ヲ誘集シ漁獲ス漁網船ハ船二隻手船二隻火船二隻活籠船一隻ヲ要シ漁夫總員四十名ニ由リ使用ス春季ノ貸與試驗ハ漁具ノミヲ貸付シ總漁獲高ノ二割ヲ本場ニ收得シ秋季ノ共同試驗ハ當業者ヨリ漁夫漁船ヲ提供シ漁獲高ヨリ雜費ヲ控除シ利益額ノ四割ヲ本場ニ六割ヲ當業者ニ於テ分配收得スルノ方法ヲ執レリ

試驗經過及成績

春季貸與試驗ハ四月八日ヨリ五月二十三日ニ至ル四十六日間ニシテ月明時及荒天日ヲ除キ出漁二十六日ニテ四月中ハ概シテ鯿群少ク五月ハ稍多カリシモ其間餌料鯿百三十三籠死魚六千七百斤價格合計三千三百二

網船ハ舫合ヲ爲シ各船ノ錨綱ヲ風向ヲ横切り左右ニ延長シ網船ヨリ三十五尋ノトコロニ第一浮標ヲ夫レヨリ尙三十五尋ノトコロニ第二浮標ヲ置キ之ヨリ錨ヲ投ジ即チ網船ヲ中心トシ左右ノ第一浮標ニ手船同第二浮標ニ火船繫留シ錨綱ヲ締メ各船ハ左右百四十尋間ノ一直線上ニ在ル如クシ籠積船ハ網船ノ船尾ニ繫留ス

此一直線上ノ兩端第二浮標ニ在ル火船ハ百四十尋ヲ隔ツルモノニシテ繫船ノマ、集魚燈ニ點火シ魚ノ誘集ヲ始メ其燈下ニ集團ヲ認ムルニ至ルヤ網船ニ信號シ同時ニ浮標ヲ離レ魚ヲ誘ヒナガラ風下ニ漕出シ中央網船ノ前面ニ集マリ網船ノ投網ヲ待ツ網船ハ火船ノ信號ヲ受クルト共ニ兩網ノ「ハガイ」ヲ縫合セ浮標ヲ離レ舫合ヲ解キ火船ニ接近シ風上ヨリ集團セル魚群ニ向テ投網圍繞シ手船ハ先漕ヲ爲シ此操作ヲ助ケ兩網船カ魚群ヲ包圍シ相近クバ互ニ舫合綱ヲ舳艫ニ取リ交ハシ兩船共環括綱ヲ船内ノ「ダビツト」及舳船梁ニ附設セル滑車ニ簞通シ「ウインチ」ニ由リ迅速ニ締括ヲ爲シ然ル後兩船ハ漸次舫綱ヲ延バシツ、網ノ繰揚ヲ爲シ此際火船ハ兩翼網ノ吹出部ニ位置シ網ノ繰揚ルト共ニ一隻ハ消火網外ニ出テ愈々魚取部ノ繰揚ケニ近クニ從ヒ残り一隻ノ火船モ魚取部ノ浮子側ヲ超ヘ網外ニ出テ網船ガ全ク魚ヲ魚取部ニ致セルトキ籠積船ハ兩網船ノ船尾間浮子側ノトコロニ來リ籠ヲ卸ロシ網ノ浮子側ヲ沈メ魚ヲ籠内ニ游ギ入ラシム網ニテ魚群ヲ圍繞スルハ多クノ場合風上ヨリ風下ニ向ケ圓形ニ包圍シ稀ニ風ナキトキハ潮上ヨリ使網ス投網ヨリ包圍スルニ五六分間夫レヨリ環括綱ヲ引キ網裾ヲ締括スルニ十分網ノ繰揚ヲ終ルニ三十分計四十五分位ニテ一回ノ操業ヲ終ルナリ斯クテ一回ヲ終レバ再ビ元ノ錨場ノ位置ニ復シ第二回ノ操業ニ着手シ又ハ當日魚群ノ模様ニ由リテハ錨場ノ位置ヲ變更シ操業ス多キハ一夜三回位漁業スルコトアリ

● 魚 本漁業ハ夜間集魚燈ニ由リ魚ヲ集メ操業スルモノナルユヘ終夜月光アルトキ即陰曆十二三夜ヨリ二十夜位迄ハ休業スルヲ常トス毎夕漁場ニ達シ全ク人顔ヲ認メサル位ノトキヨリ點火シ早キハ二三十分遅キハ三四時間ニシテ燈下魚ノ集團ヲ認ムルモ又全ク火付不良ニ終ルコトアリ半月夜ニ在リテハ月ノ入り后尙多少月明アルモ點火集魚ス而

シテ集魚ハ海底ヨリ浮上スル泡沫及ヒキ等ニ注意シ又釣ヲ垂レ魚体ノ觸ルルニ由リ感知ス概シテ「タレクチ」ハ眞鰻ニ比シ浮上リ易ク鰻ハ比シ泡沫太ナリ鰻ト共ニ混獲サルル者ハ時期ト處ニ由リ異ルモ鰻小鰻ハ割合ニ多キヲ見ル事アリ其他刀魚カマス目近羽鰻イカ等ハ混獲サルルモ極メテ少シ此内鰻鰻イカノ混スルトキハ概シテ鰻ノ量多カラザル如シ」集魚燈ハ大坪式川原田式等ノ石油集魚燈ニシテ近年油價騰貴ノタメ輕油「赤全勝」程度ノモノヲ代用シ一時間火光ニ由リ一升乃至二升一夜平均七八時間トシ七八升乃至一斗五六升ヲ要シ一ヶ月中月明時ヲ除キ二十二三夜出漁シ二十罐乃至四十罐ヲ要セリ

眼水器ニ由ル漁法 從來試驗セル漁場附近ニ在リテハ晝間鰻群ノ浮上スルモノ少ク偶之アルモ比較的沖合ナルカ其游動敏速ナルタメ全ク晝間ニ漁業スルモノナク從ツテ漁具モ焚入八田網ニ限ラレシガ揚繰網ニ由ルトキハ隨意魚群ヲ包圍漁獲スルコトヲ得ルカユヘ從來本試驗ニ際シ夕刻近キ頃浮游スル魚群ニ對シテハ直チニ包圍漁獲シタルコトアルモ其機會多カラサリシモ本年ヨリ晝間視水器ニ依リ沈栖ノ鰻群ヲ搜索シ之ヲ潮上ヨリ揚繰網ニヨリ漁獲スルニ至リ其成績良好ニシテ晝夜漁獲ヲ續ケ又月明時焚入漁法ノ行ハレザルニ當リテモ之ヲ漁獲シ常ニ鰻餌料供給不足勝ノ月明季能ク之カ供給ヲ爲シ得ルニ至レリ

八田網トノ比較 本試驗ノ區域中鹿島灣口附近ハ八田網漁業盛シニ行ハレ本網トノ成績比較ハ現實ニ爲シ得ラル、コトナルガ八田網ニ在リテハ網ノ數入後魚群ヲ網上ニ誘致スルヲ要シ爲ニ多數集團ノ魚群モ網ノ引揚ヲ爲ストキハ意外ニ少量ナルコトアルモ揚繰網ニ在リテハ魚群ノ所在ニ就キ包圍スルヲ以テ常ニ漁獲量ノ多キヲ見ルノミナラズ集魚燈ニ由ラズシテ之ヲ包圍シ視水器ニ由ル漁法ノ如キハ全ク八田網ノ企及シ能ハサルトコロニシテ著ルシク本網ノ眞價ヲ認メラレ漸次本漁業ニ改良セラル、モノ多キヲ見ツ、アリ

鯉餌料鯉揚繰網貸與試驗日誌(鹿兒島灣口山川方面ノ分) 大正七年度

月日	天候	試驗場所	從漁時間	回數	風力	水深	潮流	氣溫	比重	底質	種類	數量	記
大正七年四月八日													
九日	晴	今和泉村瀬崎沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	今和泉村瀬崎ニ於テ網ノ修繕其他出漁諸準備ヲ了ス
十日	晴	全	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	荒天 休漁
十一日	全	全	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	本夜初メテ出漁セシモ魚ノ大附ナシ、使網セズ
十二日	全	全	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	全 前
十三日	曇又晴	指宿村多良沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	東風強ク休漁
十四日	雨	指宿村多良沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	荒天 休漁
十五日	晴	約1.5哩	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	指宿村多良沖ニテ點火セシモ大附不長ニシテ施網セズ
十六日	全	全	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	全漁場附近ニテ好漁アリ、沖合ハ全ク流ナシ施網三回未明最モ好漁
十七日	全	全	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	うるめ、たれくちナ混ズ附近數ヶ所位置ヲ轉シ焚入セシモ魚群少ナシ
十八日	霞	指宿村淺沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	知林島ヨリ淺沖ニ互リ數ヶ所位置ヲ轉シ點火セシモ火附不長施網セズ
十九日	全	喜入村鈴沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	昨日全機火附不長一般ニ不漁ナリ
二十日	全	喜入村村名沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	火附稍々良好ナリシモ淺海ニシテ環巻ナシ流獲ナシ
二十一日	晴又曇	喜入村瀬々串沖	自前十一時至全五時	一	北々西	四	潮	一六、八	一、三	全	餌	二	うるめ、たれくちナ混ズ

鯉餌料鯉揚繰網貸與試驗日誌

二十二日	曇	指宿湊沖	自前二時半	西南四	千潮	八、〇〇	全	餌	荒天 休漁
二十三日	全	指宿湊沖	自前二時半	北東三	千潮	八、〇〇	全	全	多真沿岸ニテ夕刻晝流チナシ四籠たれうめチ混獲ス
二十四日	全	知林島ノ南方約三哩半	自前二時半	北東三	千潮	八、〇〇	全	全	たれまわしチ混ズルコトナレリ
二十五日	晴	山川村渡附近	自前三時半	一東二	八	三、〇〇	全	全	半々昨夜ヨリ稍々好漁トナレリ
二十六日	曇	全	自前一時半至全四時半	一南二	満潮	三、〇〇	全	全	魚ノ火附良好ナリシモ揚網ノ際之ヲ逸セリ
自二十七日至五月一日	晴	指宿湊沖	自前一時半至全四時半	三南西一	七稍急潮	三、〇〇	全	全	月明時ニ付休漁
二日	晴	指宿湊沖	自前一時半至全四時半	三南西一	七稍急潮	三、〇〇	全	全	漁具ノ手入チナス
三日	全	知林島ノ北	自前一時半至全四時半	一南東二	〇千潮	九、〇〇	全	全	まゐわし五籠うるめ六籠
四日	全	知林島ノ東	自前四時半	北一	〇全	二、〇〇	全	全	數ヶ所ニ位置チ轉シ焚入セシモ火附不耳各網共流ナシ
五日	全	指宿村湊沖	自前七時半	二東二	〇全	二、〇〇	全	全	北西ノ強風休漁
六日	全	全	自前七時半	二東二	〇全	二、〇〇	全	全	夕張ニテワルメダレ交リ四籠ヲ獲夜中ハ火附不耳未明ニ至リタレクチ五籠ヲ流ス
七日	全	全	自前七時半	二東二	〇全	二、〇〇	全	全	(ワルメ少量チ混ズ)
自十八日	全	全	自正六時半至自六時半	二南一	七千急潮	二、〇〇	全	全	前夜知林ノ北ニテ點火セシモ魚ノ火附ナシ未明湊沖ニテたれくち少量チ獲ス
十一日	全	全	自正六時半至自六時半	二南一	七千急潮	二、〇〇	全	全	魚ノ火附良好トナレリタレクチ主トシワルメチ混ズ
十二日	全	全	自前六時半至自十時半	二南一	七千急潮	二、〇〇	全	全	荒天 休漁
十三日	曇	全	自前六時半至自十時半	二南一	七千急潮	二、〇〇	全	全	正午ヨリ后一時試網潮流急ニシテ漁獲ナシ夕刻晝流チナシレクチ十一籠ヲ流ス魚體稍々大ナリ
十四日	全	山川村渡濱	自前二時半至自五時半	二南一	七千急潮	二、〇〇	全	死魚	昨今火附不耳ニシテ近日來揚網ハ殆ド晝間ノミ作業

十五日	十六日	自十七日至十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	自廿四日至三十一日
晴	全		晴	全	全	全	全
山川灣口沖	小島尾掛間		指宿村湊沖				
至前後三時	至前後三時	至前後三時	自正六時午	至前十七時	至前十七時	至前十七時	至前十七時
二南四一	一北東一		三西二	二全	一北東一	一東一	
二三滿潮	二三全		二三全	二三滿潮	二三	二三	
一九五〇	一九五〇		一九五〇	一九五〇	一九五〇	一九五〇	
全			全	全	全	全	全
餌	死鱈		まいわし餌	餌	餌	餌	餌
九四	六五						
山川灣口ニテハタレクチヲルメマイワシ及若干ノ鱈ヲ混シ尾掛沖ニテハタレクチヲ獲物ハミナリノミナリノ混セズ漁場附近ハ前夜來鱈群ル多シ休漁							
之ヲ以テ終了トス							

鯉餌料鰹揚繰網漁業試験日誌 (阿久根方面ノ分)

大正七年度

月日	天候	試験場所	從漁時間	回施數	風力	水深	潮流	氣溫	換算	底質	種類	獲物	記
大正七年七月廿八日	晴	長崎燈臺南沖		二	〇			三〇	三六		鰹	三三	諸般ノ準備ヲ終ヘ前十一時竹島丸ハ網船ヲ曳船今和泉發阿久根ニ向フ途中機關故障ノ爲メ延着四日前二時阿久根入港ス
四日													後七時阿久根ヨリ出漁
五日													前夜續五〇貫未明餌鰹十三籠ヲ得
六日													荒天ニ付休泊
													阿久根沖合風浪強ク八代内海ニテ從漁セントシ后二時半阿久根發四時柱島着

鯉餌料鰹漁業試験

[illegible]

二十七日	晴	長島燈臺南沖	一	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	後六時出漁七時着點水流獲
二十八日	全	八代内海七尾島北沖	一東北	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
二十九日	曇雨	全所	一全	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
三十日	晴	七尾島北沖	一全	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
三十一日	曇	七尾島北沖	一全	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
九月一日	晴	鹽追小島東沖	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
二日	全	全所南沖	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
三日	全	阿久根北沖	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
四日	晴	鹽追小島南沖	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
五日	晴	全所北沖合	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
六日	全	伊唐島南海	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
七日	全	七尾島東方	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
八日	晴	柱島東海	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
九日	晴	鹽見沖	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
十日	全	全	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
十一日	晴	全	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲
十二日	全	全	二	三	二五、三	二五、元	ワルメ	三籠	ナシ	前六時出漁七時着點水流獲

十三日	晴								
十四日									
十五日									
十六日	晴曇	七尾島西海							
十七日	全	全北沖							
十八日	全	全所							
十九日	晴								
二十日	全								
二十一日	曇								
二十二日									
			東北強						
			一北西一						
			三						
			二四、五〇 二四、八六						
			砂						
			サルメ						
			小量						
			二七籠						
			一〇〇斤						
			泥砂						
			タルメ						
			サルメ						
			サバ						

揚繰網試驗漁獲物賣捌月別表

月別	從漁期間	出漁日數	試驗方面	種類	賣捌數量	價格	買渡鯉數	平均賣渡價格
四月分	自四月八日至五月一日	十四日	鹿兒島灣口	餌鯉	五二籠	一、二六七、七〇〇	七隻	廿四圓參拾七錢
五月分	自五月二日至五月卅一日	十五日	全	死餌魚鯉	八一籠 六七八〇斤	二、〇五四、一五〇	十一隻	廿二圓參拾貳錢
八月分	自七月廿八日至八月廿六日	十一日	出水郡沿海	死餌魚鯉	七三籠 三六七五斤	九二四、九二〇	一〇隻	拾壹圓參拾錢
九月分	自八月廿七日至九月廿四日	十七日	全	死餌魚鯉	五七籠 一九四五斤	七三〇、七五〇	七隻	拾壹圓

鹿兒島海灣

大嶺

肝

属

郡

池田湖

山川

(年七正大)

累年試験成績比較表

年 度	試験漁具	試験漁場	試験期間	漁獲數量	供給販賣金額	利益分配額	漁船渡數
大正元年度	八田網	薩摩川邊郡	四ヶ月間	九三籠 一一、三九一斤	一、八〇三、三九〇 ^四	一、三八三、〇四〇 ^四	三十四隻
大正二年度	改良揚繰網	揖宿、肝屬、川邊郡	四ヶ月間	一九六籠 五〇、六八〇斤	二、一〇一、七二〇	一、一一九、六六〇	五十二隻
大正三年度	全	川邊、各郡	五ヶ月間	四八八籠 三六、六二六斤	五、七〇四、三〇〇	三、四九九、八四〇	百六十三隻
大正四年度	全	揖宿、肝屬、川邊郡	五ヶ月間	四一六籠 二七、〇三〇斤	二、九四五、六一〇	一、一三三、〇〇〇	百十隻
大正五年度	全	揖宿、肝屬、各郡	四ヶ月間	二九八籠 八、一〇四斤	三、四〇六、八〇〇	一、八三二、八〇〇	八十隻
大正六年度	全	全	五ヶ月間	三九六籠 一〇七、一三三斤	五、六二八、二五〇	三、八八三、二三〇	四十八隻
大正七年度	全	全	四ヶ月間	二六三籠 一一、四〇〇斤	四、九七七、五二〇	七二八、二四〇	三十五隻

大正七年度試験中四五月ハ貸與試験ナリシタメ此ニ掲グル利益分配額ハ八九ノ二ヶ月分ナリ

附

本漁業試驗ニ關聯シ縣内ノ鰻漁場ニ付梗概ヲ調査シタルモノアルヲ以テ添記參考ニ資ス

鹿兒島縣ノ鰻

(大正八年十一月)

たれくち(脊黑鰻) 毎年早ク現ハル、ハ櫻島南岸垂水附近ニシテ三月中旬頃ヨリ施業ス四月ニ入レハ有明灣片浦灣山川港方面ニモ漁業セラレ五月迄繼續スルモ漸ク水溫ノ昂マルト共ニ「まいわし」ヲ混シ六月ニ入レハ著ルシク減シ鹿兒島灣ニ於テ獨リ灣奥(櫻島以北)ニ多ク漁業セラルト有明灣ニ其殘影ヲ止ムルニ過キス
秋季ニ入リ(八月)水溫下降ト共ニ再ヒ魚影ヲ見ルモ櫻島以北ノ灣奥及有明灣ニ漁獲アルノミニテ其他ニハ多カラス
十一月ニ終漁トナル

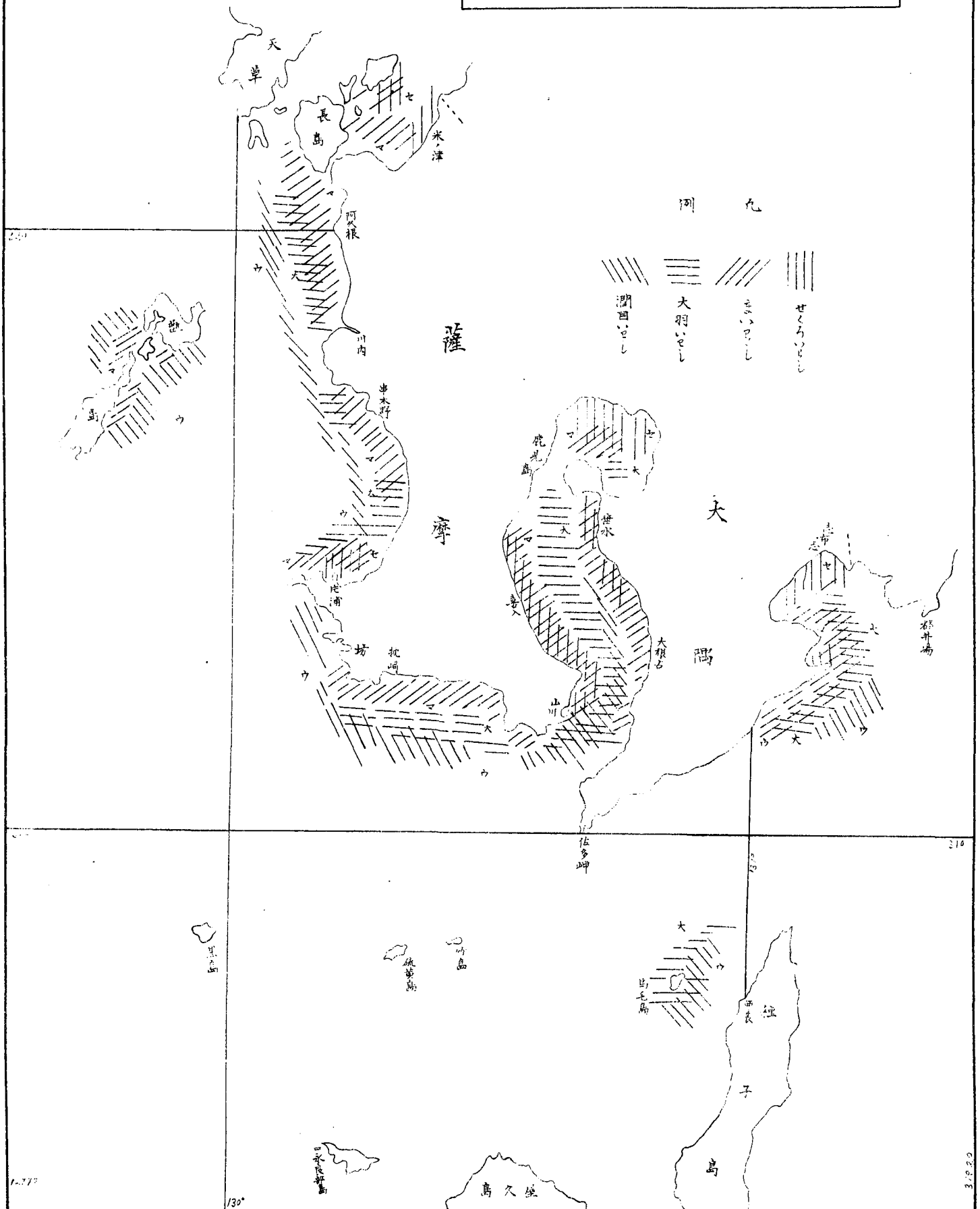
八代海出水郡米之津附近四五月頃小形ノ魚群アリ地曳網ニテ漁業セラル、モ多カラス

まいわし(眞鰻) 早キハ四月ニ現ハレ山川港附近片浦灣ニ漁獲セラレ爾后五六月ハ其量ヲ増シ同上ノ外山川ヨリ枕崎ニ至ル沿岸有明灣ノ内浦方面、阿久根ヨリ東西長島一帯ニ漁獲アリ夏季水溫昂マルト共ニ山川港附近片浦灣及兩地間ノ南部沿岸ハ魚影ヲ沒シ北部地方ニミ漁獲アリテ九月頃マテ繼續シ末期ニ於テハ南部沿岸ニモ再ヒ現ハル鰻島方面ハ十、十一月頃潤目鰻ニ混シ寒冷ナル年ニ在リテハ可ナリノ漁獲アルモ平年ニハ其量多カラス

うるめいわし(潤目鰻) 毎年九月頃ヨリ漁獲アリ翌年三、四月頃迄繼續ス鹿島灣口附近ヨリ野間岬ニ至ル南部沿海一帯串木野ヨリ阿久根ニ至ル間鰻島ノ東西有明灣沖及種子島ノ北部ニ漁業セラレ分布最モ廣シ

大羽鰻 時季ハ「うるめいわし」ニ似タルモ其寒冷ナル季ニ漁獲アリ鹿島灣口附近ヨリ野間岬ニ至ル南部沿海同岬ヨリ阿久根ニ至ル間有明灣沖等ニ回游多ク其他種子島北部ニモ魚群現ハル、モ其量多カラス

各 種 鯧 魚 場 圖



鰺延繩漁業試驗

試驗趣旨

本縣沿海ハ鰺ノ栖息多ク從來谷山、川尻（願姓村、白澤津東南方、村ノ内）、西加世田、甌島、種子島地方漁業ヲ爲スモノ

アルモ多クハ其地先沿岸ニ入込ム鰺ヲ目的トスル小規模ノ漁業ニシテ就中谷山、川尻漁船ハ規模稍ヤ大ニシテ漁場ヲ轉々シテ漁業シ遠キハ種子島ノ東又ハ南ニ及ビ殊ニ川尻ニ於テハ本年ヨリ小型發動船ヲ用フルモノアリ漁場ハ七島ノ一部ニ及ビ好績ヲ舉ゲツ、アリ本場ハ去大正四年以來漁業規模ヲ大ニシ汎ク各漁場ニ互リテ漁利ヲ舉グル本業ノ企劃ヲ促サントシ試驗ニ着手シ近年ニ於テハ主トシテ種子島、屋久島ノ東南海ヨリ七島方面ニ互リ未着手ノ新漁場ノ漁獲ヲ目的トシ試驗ヲ爲シツ、アリ

試驗經過

試驗船ハ發動機關（三十馬力）付ノ竹島丸ニ因リ船長以下十二名乗組鰺延繩ハ一鉢長五百尋枝繩十本付ノモノ二十鉢ヲ使用シ大正七年五月二日ヨリ同月二十四日迄ノ間ニ七島ノ内口之島、中島、諏訪瀬島ニ各一回ツ、漁業シ鱈四十八尾漁獲高三百一圓ヲ得タリ

試驗成績

七島方面ノ出漁ハ遠航海ナルタメ荒天季ヲ避クルノ要アリ前年度ニ於テ時季ヲ早メ九月ヨリ十一月ニ互リ試驗セルモ尙荒天ニ妨ラレ豫期ノ位置ニ出漁シ難キヲ以テ本年ハ特ニ五月中ニ繰上ゲ試驗セリ此季ハ比較的海上平穩ニシテ出漁ノ機會ヲ得豫期ノ漁場ニ就キ試驗スルヲ得タリ然レモ今回出漁セシ口之島中之島諏訪瀬島ハ所謂七島洋中ノ孤島ニシテ船舶ノ碇繋スヘキ港灣ナク島陰ニ假泊スルノ外ナキヲ以テ一度往航ニ就クモ天候異變ノ徴アルトキハ口永良部島又ハ屋久島一湊ニ引返ヘサ、ルベカラス故ニ根據地トセシ山川港ニ於テ充分天氣ヲ見定メ目的ノ島ニ夕刻達スル如ク出航シ島ノ近邊ニ達スルヤ直チニ投錨シ漁船ハ附近ニ假泊シ翌朝錨ヲ引揚ゲ歸航セルモ諏訪瀬島ニ漁業セルトキハ天候穩カナリシタメ更ニ中之島ニ移リ漁業シ一航海二回ノ漁業ヲ爲スヲ得タリ

本年ノ漁獲ハ前年ニ比シ總金額ニ於テ約百圓ヲ減セシモ其期間ハ前年ノ二ヶ月ニ比シ一ヶ月間從漁シ出漁回数十三回ニ比シ僅ニ三航海四回漁業セシモノナルユヘ漁獲割合ニ於テハ本年ノ成績大ニ優レルモノナリ

本島附近ノ鰺ハ豊富ニシテ其種類ハ「シユモク」「ツマクロ」「ツマシロ」「ヒラカシラ」「ツマリ」「ノークリ」等各種ヲ見ルモ種子島附近ニ比スレバ白鰺「ネズミ」青等ヲ見ズ之ハ栖息少キカ或ハ時期ノ關係ニ由ルカ暫ク疑問ヲ存スルモ之ニ反シ「マダラ」ハ今回試驗セシ方面ニ於テ見ル種類ニシテ魚體大ナルタメ取揚げ困難ニシテ而カモ質不良ナリ本年得タルモノハ一尾ハ體重七百餘斤ニ達シ市價ハ僅カニ十圓ニ過ギザリシナリ

今回ノ試驗ニ於テ各島ノ東側ニ投繩セルハ南西ヨリ來ル海流急ナルタメ島蔭ヲ選ビタルモノナリ尙島ノ東側ニ於テモ干満潮候ニ伴ヒ南北流アルモ操業不能ノ程度ニ非ズ今回ノ實驗ニヨリ一時間三四哩ノ流速アル場合ハ揚繩困難ナルモ之ニ達セザル場合ハ支障ナカリシ

各島ノ漁場ハ島ノ東側百尋線内ヲ限度トシ投繩セシニ各島中口之島ハ揚繩容易ナリシモ中之島ハ北半部ハ海底凸凹岩アリテ屢揚繩ニ困難ヲ極メタリ諏訪瀬島ハ到達時刻遅レ餘リニ島ニ近ク投繩セシタメ瀬荒カリシモ今少シク島ヲ離ルトトキハ海底支障ナキガ如シ投繩場所ノ水深ハ四五十尋乃至七八十尋ノトコロナリシカ其深キトコロ魚羅リ宜ク又繩ノ南端流勢迅キ場所ハ概シテ魚羅リ多キヲ見タリ又餌料ハ生鯖ヲ用ヒ時ニ加搥シタルモノヲモ用ヒタルニ后者ハ前者ニ比シ常ニ魚羅リ劣レルガ如シ

要スルニ之等漁場ハ鰺ノ栖息多ク好漁場ナルハ今回ノ漁獲ニ由リ明カニ証明セルトコロニシテ爲ニ民間小型發動船ノ鰺漁ニ従事スルモノハ本試驗船ニ追隨シ本漁場ニ出漁スルモノアルニ至レリ唯諏訪瀬島ハ獨リ本試驗船ノ漁業ニ記録ヲ殘セシニ止マレリ蓋シ同島ハ屋久島一湊ヨリ本船ニテ約十一時間ノ航程アリ小型船ノ航海トシテハ困難ヲ感スル場合アルニ由ルモ遠カラス此方面ニモ夫等民間船ノ出漁ヲ見ルニ至ルナラント察セラル

終リニ今回試験セル三島ニ就キ概要ヲ記シ同方面出漁者ノ參考ニ資スヘシ

口之島 口永良部島ノ南南西三十哩中之島ノ北六哩ニ在リ周回四里餘中央ノ前岳ハ直立二千六十三尺アリ頗ル危峰ニシテ容易ニ攀躋スヘカラス島ノ東部ヨリ南ニ面スルトコロハ樹木多シト雖モ其餘ハ總テ蕩竹茂生シ沿岸ハ大概斷岩絶壁ニシテ西船着場ノ近傍一二町ノ間僅カニ砂濱アルヲ見ルノミ

全島中港灣ナク船着場一ヶ所アリ西受ケニシテ稍灣形ヲ爲スト雖前面ハ總テ珊瑚盤嶂之ヲ圍繞シ其間ニ一條ノ潮路アリテ船ヲ出入ス然レトモ干潮ノ時ハ露出スルヲ以テ船ヲ岸ニ寄スル能ハス滿潮ノ時ト雖モ其潮路ヲ諳知セサレハ甚タ危險ナリ然レトモ其近傍ハ珊瑚未ノ白砂濱ニシテ傾斜稍緩ナルヲ以テ船ノ揚卸シニ甚シキ困難ナキノミナラス風波激甚ノキト雖モ一旦船ヲ引揚クルトキハ又破碎セラルハノ憂アルコトナシ

中之島 口之島ノ南六哩諏訪瀬ノ北東十二哩臥蛇島ノ東十四五哩ニ位シ周回六里二十三町御岳高ク西部ニ聳ヘ三千二百十尺アリテ實ニ十島中第一ノ高峰タリ沿岸ハ斷崖ニアラサレハ巨岩大石ヲ繞ラシ地勢ノ稍緩ナルコロハ珊瑚盤嶂一面ニ連リ其砂濱アルハ島ノ北七ツ山ノ海岸丘麓ノ海ニ望ムトコロ僅カニ岩石ノ間ニ存在スルヲ見ルノミ

全島港灣ナク西南ニ面スル村落ノ直下ヲ船着場トス其海岸ハ巨岩圓石相層重シ前面ハ珊瑚盤嶂横ハリ其間ニ一條ノ潮路アリテ船ヲ出入スト雖モ滿潮ニアラサレハ岸ニ近ツクヘカラス且風濤少シク起ラハ船ヲ破碎スルノ憂アルヲ以テ直ニ岸ニ引揚ケサルヲ得ス又島ノ北面七ツ山ノ海濱ニモ風波靜穏ノ日ニ於テハ船ヲ岸ニ寄セ一二隻ノ小船ヲ引揚クルヲ得

諏訪瀬島 中之島ノ南西十二哩平島ノ東九哩惡石島ノ北十哩ニ位シ周回六里十六町嶋峰ハ御岳ト稱シ直立二千六百十六尺活火山ニシテ噴煙絶ヘス島ノ西南部及西北南ノ大部ハ樹木繁茂スト雖モ御岳ノ中腹以上及東南北兩海面ノ一部ハ礫礫磊落トシテ赭色ヲ呈シ草木ヲ生セス沿岸ハ概テ斷崖絶壁ニシテ西南部ハ大石巨岩之ニ沿ヒ累々層重シ或

本島モ港灣ナク船着場ニケ所アリ一ハ西村落ノ直下ニアリ之ヲ元浦ト云フ海岸ハ絶壁ニ沿フテ大岩圓石紛錯シ傍近ハ暗礁多ク頗ル危険ナリ風波靜穩ノ日ニアラザルヨリハ決シテ船ヲ近ツクヘカラス且風波少シク起ラハ船ヲ破碎セラル、憂アルヲ以テ船ハ陸ニ引揚ケサルヘカラス是島民ノ常ニ船ヲ寄スルコトニシテ其傍ニ船揚場アリ山麓ヲ拓テ之ニ充ツ極メテ狹隘ニシテ漸ク三四隻ノ小船ヲ引揚ケ得ヘシ一ハ島ノ東南面村落ヲ距ル十四五町許ニアリ新月形ヲナス之ヲ切石濱ト云フ海岸ハ山麓ニ沿ヒ砂濱ノ間ニ大石碁布レ珊瑚盤嶂長ク海面ニ突出シ其間一條ノ潮路ヲ通シ満潮ノ時ヲ待テ船ヲ出入ス元浦ニ比スレハ優レリト雖モ激浪怒濤ニ堪ヘス其他西北面ノ赤濱及脇山モ平穩ノ日ニハ船ヲ寄スヘク又丸浦由井倉モ狹小ナル灣形ヲ爲シ南風時二三ノ小漁船ヲ泊スルヲ得ヘシ

竹島丸

[illegible]

計	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	自十九日 至十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	十日	九日	八日
		晴 一東	曇 〇	晴 西北 一	晴 南 三		晴 一西	晴 北 三	曇 北 三	曇 南 一	晴 西 二	雨	雨 三東	曇 三東
			至 前八時 十分	自 后七時 十分	自 后七時 十分					自 后七時 十分				
			二 四	二 五	二 五					二 五				
			三、五	二、二	二、二					二、八				
			一、〇至五	一、〇至九	一、〇至九					〇〇〇〇				
			北西急	南	東又ハ					南				
			鹽 鯖	鹽 鯖	生 鯖					生 鯖				
フ		ツマ マ	ツマ マ	ツマ マ	ツマ マ					頭 ノ	シ ノ	ツ ノ	ハ ノ	
カ		マ ラ	マ ラ	マ ラ	マ ラ					切 リ	ユ モ	ガ リ	ビ ロ	
八尾		五尾	二尾	二尾	一尾					三尾	四尾	三尾	八尾	二尾
三二、三〇			九二、四〇							二四、八〇				
荒天休泊 前九時天候險惡ヲ冒シ屋久島ニ向ヒシ モ佐多岬沖風浪高ク渡航能ハズ山川ニ 歸泊ス 荒天休泊 前八時半山川拔錨屋久島一湊ニ向フ后 三時着泊 前九時四十分錨二四〇尾購入ノ上中之 島ニ至リ后六時四十分投錨 前七時二十分揚繩着手十一鉢ヲ揚繩シ タルハ錨關ニ故障シ生シ揚繩不可能ト ナリ端艇ニテ曳船シ中島假泊地ニ至リ 修理ヲナス 前七時半ヨリ昨日ノ殘部ノ揚繩ヲナシ 全十時半終了鹿兒島ニ向フ 前五時半漁獲物賣却ノ爲メ谷山ニ寄港 シ必要品積入ノ爲メ鹿兒島ニ至リ直チ ニ山川ヘ回航ス 荒天休泊 前十時半山川拔錨后五時四十五分一湊 着泊 前七時四十分錨百四十斤購入ノ上諏訪 瀬島ニ至リ后七時十五分投錨 前六時四十分揚繩全十時廿五分終了直 チニ中島ニ至リ后六時半投錨 前五時半揚繩着手全八時四十五分終了 漁獲物賣却ノ爲メ鹿兒島ニ向フ 前三時二十分谷山ニ寄港漁獲物賣却 シ鹿兒島ニ至ル 本日ヲ以テ本年度試驗終了														

鮪延繩漁業試驗

試驗ノ趣旨

本縣沖合ニ於ケル大鮪延繩漁場トシテハ明治四十四年度ヨリ種子島東南海面ニ於テ試驗ニ着手シ幸ニ累年試驗ノ結果良好ニシテ民間從漁船モ増加シ大正四、五年度ニ在リテハ川邊郡內鯉漁船ノ同漁季終了后從漁スルモノ多ク根據地熊野港ニ數十隻ノ漁船集中スルノ盛況ヲ見ルニ至リシガ同六年ヨリハ鯉節價格ノ騰貴ニ伴ヒ餌鰯ノ供給アル限リ鯉漁業ニ從事シ翌年一月中ニ及ヘルモノアル狀況ニシテ爲ニ鯉船ノ本漁業ニ移ルモノ著ルシク減シタルモ本年ヨリハ近時起レル小型發動船ノ從漁スルモノアリ漸次増加ノ傾向ヲ見ルニ至レリ此間本場ノ試驗ハ鮪漁場ノ範圍及漁獲ノ狀況ヲ明ニスルト共ニ之等民間船ノ經營ヲ指導助長スルヲ目的トシ且屋久島南方ニ及ヒ新漁場ノ探求ヲモ爲サントシ試驗シツ、アリ

試驗經過

試驗船ハ發動機關(三十馬力)付ノ竹島丸ニ因リ船長以下十二名乗組鮪延繩ハ一鉢長二百四十尋枝繩九本付ノモノ三十五鉢ヲ使用シ大正七年十二月十五日ヨリ同八年二月二十五日迄ノ間ニ種子島東南海面ニ十七回出漁鮪外雜魚ヲ合シ百二十九尾漁獲高三千七圓餘ヲ得タリ

試驗成績

種子島南東沖合ノ漁業ハ本年ハ十二月中ハ方十四五湮ノ附近マテ暖流接近セシモノ、如ク水温二十二度五分内外北流緩ニシテ黄肌、目鉢鮪ノ來游夥シク試驗船モ二繩ニテ四十餘尾價格千百餘圓ニ達シ近來稀有ノ大漁ヲ見タリシモ一月ニ入リ水温漸ク下降シ北又ハ北東ニ流ル、潮速急ニシテ稍ヤ薄漁トナリ各船共每航百圓内外ノ漁獲ニ過キサリシ二月ニ入リ北流緩トナリ水温二十度乃至二十一度餘ニシテ黄肌、目鉢鮪ノ漁獲多ク屢々鮪數十尾數百圓ノ大漁ニ會セルモノ少カラサリシモ之ヲ昨年度ノ漁況ニ比スルトキ同年ハ寒氣強ク西及北西ノ強風多ク漁場ノ表面水温ハ十八度五乃至二十二度五ニテ全漁期ヲ通シ潮流概シテ緩ニシテ例年ニナキ仔鮪多ク又五六十貫大ノ大鮪モ屢々釣獲

20.5 21.6 21.5 21.5 22.0

一月十四日 東南東へ三哩半毎ノ観測水温

20.6 21.0 21.2 20.2 20.5 21.5 21.5

一月十六日 東南微東へ二哩半毎ノ観測水温

21.4 20.1 21.4 21.4 21.2 21.0 21.3 21.6

一月二十七日 南東へ二哩半毎ノ観測水温

19.8 20.8 20.8 20.8 20.6 20.5 21.0 21.0 21.8 21.3

二月十一日 東微南二分ノ一南へ二哩半毎ノ観測水温

19.5 19.8 19.4 20.5 20.1 20.9 20.7 20.2 20.4 20.7 19.8 21.0 21.0

二月十二日 東へ一哩半毎ノ観測水温

19.5 20.0 19.9 20.0 20.5 20.5 20.4 20.5 19.4 19.4 19.3

二月十五日 東二分ノ一北へ一哩半毎ノ観測水温

18.9 19.0 19.0 19.5 19.6 19.5 19.9 19.6 20.1 20.1 20.1

二月二十日 東へ一哩半毎ノ観測水温

19.2 18.9 20.0 20.0 20.2 19.4 20.4 20.1 20.5 20.5 20.4 20.5 20.4

陸ヨリ沖ニ至ルニ從ヒ水温上騰スヘキニ反シ處々ニ却ツテ低温ヲ見ルハ南北水帯ノ交流アルヲ示スモノニシテ風向ニ
因リ其位置ニ伸縮アリ何レノ場合モ之等交流水帯ヲ越ヘ漁場ヲ求メサルベカラス

尙本試驗ニ由リ經驗セル事項ヲ次ニ列舉シ營業者ノ參考ニ資スヘシ

餌料 ハ「イカ」及「イワシ」ヲ用ヒ「イカ」ハ熊野浦沖ニテ集魚燈ヲ用ヒ漁獲スルヲ得ルモ其季ハ早キハ十二月末ヨリ二月上旬頃迄ニシテ其前後ハ「イワシ」ヲ用ヒサルヘカラス兩者中「イカ」ハ釣獲多ク「イワシ」ハ「マイワシ」ヲ可トシ潤目鰻ハ成績劣レルカ如シ

鰯ノ種類 ハ本年ハ「トシボ」少ク殆ント黃肌、目鉢鰯ニ限ラレタル如ク漁場ニ於テハ概シテ陸地ニ近キ方ニ黃肌鰯沖合ニ目鉢鰯多キカ如シ一繩中ニテハ同種ノ鰯ハ相隣レル枝絲ノ釣ニ罹リ兩種互ニ混交シテ鈎ニカ、ルコトナク之ニ因リ察スルトキハ一群中ニ兩種混游セル如キモノニアラサル如シ

枝絲ノ長サハ二十尋ノモノト八尋ノモノヲ混用セルカ概シテ二十尋ノモノニ罹レル場合多シ

底礁 ハ種子島南端及熊野浦ノ北増田ノ東沖ニ稍ヤ隆起セルモノアル如ク殊ニ増田沖ノモノハ附近常ニ水溫ノ變態ヲ見ルカ故稍ヤ高キモノト察セラル此礁上常ニ鰯ノ漁獲ヲ見ルモ魚體十貫以下ノ小形ナルモノ多キガ如シ之等底礁ハ漁場ノ形成ニ至大ノ關係ヲ有スルモノト認ラル、ガ故他日鍾測ヲ試ミ其性狀ヲ究ムルノ要アリ

鰯ノ價格 ハ本年ハ根據地熊野浦ニハ出買船來ラス總テ宮崎縣油津港ニ販賣セシニ其價格左ノ如シ

一月九日	黃肌	大 十貫ヨリ 三十七圓	中 八貫ヨリ 三十二圓三十錢	小 八貫以下 三十一圓三十錢
同 十五日	目鉢	大 十五貫以上 二十七圓七十二錢	大 十五貫以下 二十六圓四十錢	
同 十七日	黃肌	中 二十九圓五十錢		
同 十九日	同	中 三十三圓八十錢	目鉢 大 三十三圓八十錢	
同 二十四日	同	大 二十六圓十錢	小 二十三圓二十錢	目鉢 大 二十七圓
同 二十五日	同	大 三十三圓八十錢		

同 二十九日	同	中 二十二圓八十錢	小 二十三圓八十錢
二月 十三日	同	大 二十七圓	中 二十圓六十錢
同 十八日	同	中 二十圓十錢	小 十五圓六十錢
同 二十一日	同	中 二十二圓二十錢	
目鉢	大大二十五圓三十錢	大 二十一圓八十錢	中 二十圓六十錢
同 二十二日	黃肌 中 十八圓三十錢	小 十八圓五十錢	
目鉢	大 十七圓四十錢	中 十六圓四十錢	

竹島丸鮪繩試驗收支經濟

(大正七年十二月十五日ヨリ
大正八年二月末日マデ)

收 入

一金參千七圓七拾四錢

總 漁 獲 金

內 譯

金貳千八百五拾五圓六拾八錢

鮪 百 十 五 尾 代

金七拾參圓〇壹錢

鱈 十 五 尾 代

金六拾壹圓參拾五錢

旗 魚 四 尾 代

金拾七圓七拾錢

雜 魚 八 尾 代

支 出

一金千七百參拾八圓八拾八錢

諸 經 費

內 譯

金五百九拾圓五拾壹錢

金七百九拾六圓拾錢

金百〇參圓

金四拾參圓四拾錢

金拾壹圓

金貳圓八拾四錢

金七圓九拾錢

金百貳拾貳圓

金六拾貳圓拾參錢

差引利益金千貳百六拾八圓八拾六錢

船員給十一名分三ヶ月間分

輕油百五十二罐代

機械油十九罐代

燈油六罐代

ウエス四十四把代

食鹽二俵代

木炭七俵代

餌料鹽鯿五千百尾代

餌料柔魚六百六十七尾代

鮪延繩漁業表

大正七年度

竹島丸

月 日	天候	漁場	漁具使用時	漁具使用數	水温	比重	海流	流速	餌料	種類	數量	平均重量	物價	記 事
十月十八日														諸般ノ準備ヲ了シ后一時鹿兒島港出帆山川へ寄港シ餌料購入ヲ爲ス
十月十七日														荒天休泊(山川)
十月十五日														前八時山川拔錨根據地種子ク島熊野へ向フ東風烈シク全島ノ西岸ヲ迂回シ后七時熊野へ入港ス

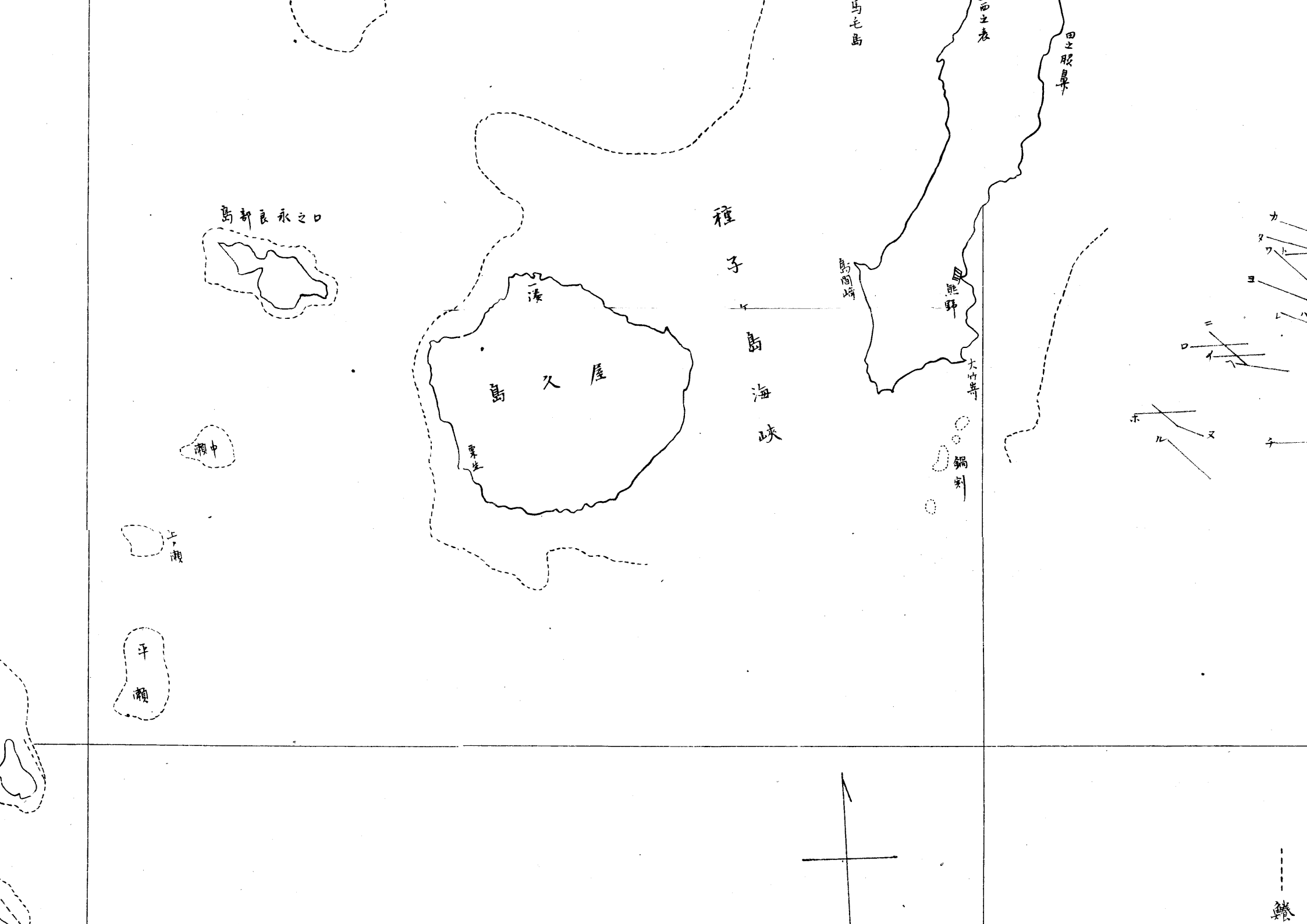
十九日	二十日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	二十五日	二十六日	二十七日	二十八日	二十九日	自三十日 至一月三日	四日	五日	六日
		晴			曇			曇						
		北			北東			北西						
		イ			ロ			ハ						
		自前十二時半 至后十時半			自前十時半 至后九時半			自前十時半 至后十時半						
		三			三			三						
		三三三			三三三			三三三						
		一〇五八			一〇五八			一〇五八						
		北東 緩			北東 緩			北東 緩						
		鹽イ 銀カ			全			全						
		メキ マカヤ 長ヤ カチダ			メキ ツバハ カチダ			メキ ツバハ カチダ						
		二尾 一尾 一尾			七尾 八尾 二尾			五尾 四尾 三尾						
		一六二 一六二 一六二			一八七 一八七 一八七			二〇一 二〇一 二〇一						
		五四、九六〇			四三、一〇〇			二〇、一七〇						
荒天休漁	前五時熊野拔錨未明漁場附近ニ達セシ頃 天候險惡トナリ風浪烈シク從漁ヲ見合セ 前十一時熊野へ歸泊ス	前八時半熊野ヨリ出漁后十時半揚繩ヲ了 シ日向油津へ向フ	前五時中油津へ入港漁獲物ヲ賣却ス 天候不穩ノ爲メ出帆ヲ見合ス	后一時油津港出帆種子ケ島熊野へ向フ后 十一時全地へ入港	前八時四十分熊野ヨリ出漁 后九時半揚繩ヲ了シ日向油津へ向フ	前七時油津へ入港漁獲物ヲ賣却ス 降雨烈シク出帆ヲ見合ス	前五時油津出帆種子ケ島熊野へ向フ 后四時全地へ入港	前八時ヨリ熊野出漁 揚繩后漁獲賣却ノ爲メ鹿兒島市へ向フ	前十時山川へ寄港十一時全港發后五時 鹿兒島へ入港	漁獲物ヲ賣却ス 后三時鹿兒島發全六時半山川へ寄港ス	荒天休泊(山川)	前十一時山川出帆 后七時廿分種子ケ島熊野へ入港	豫備品ノ陸揚ヲ了シ前九時四十分全港ヨ リ出漁天候不穩ノ爲メ從漁ヲ見合セ后二 時熊野へ歸泊ス	荒天休泊

鮪延縄漁業試験

二十二日	二十一日	二十日	十九日	十八日	十七日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日	十一日	九日	八日	七日
	晴曇				晴	晴曇		晴					晴	晴
	北				東	北東		北西					南	南
	リ				チ	ト		ヘ					ホ	ニ
	自后四時				自后十二時	自前十二時		自前九時					自后十二時	自后十一時
	至后九時				至后十時	至后十時		至后十時					至后九時半	至后十時半
	三				三	三		三					三	三
	三〇				三三	三二		三〇					三五	三二
	一〇六				一〇五	一〇三								
	北東				北東	北東		東北					北東	東北
	急				急	急		急					急	急
	全				全	全		鹽					全	鹽
	フキ				雑	メ		メ					キ	キ
	ハ				ハ	ハ		ハ					ハ	ハ
	カダ				ダ	ダ		チ					ダ	ダ
	一尾				一尾	二尾		二尾					二尾	二尾
	二三				二四	二六		二五					二四	二四
	一				八	一〇		一〇					八	一〇
	五七〇				二〇〇	二〇〇		七八五					三三〇	三三〇
荒天休泊	前七時半内ノ浦ヨリ出漁后四時漁揚着没 至后九時揚繩ヲ了シ翌朝一時半熊野ヘ歸 泊ス	正午油津拔錨有明灣口外ニ着錨ルヤ北西 ノ風強ク内ノ浦ヘ避泊ス	荒天休泊(海洋港)	前八時熊野ヨリ出漁后五時半即月出頃ヨ リ弗々黄肌ノ漁獲アリ后十時揚繩ヲ了シ 翌朝一時半熊野ヘ歸泊ス	前九時熊野ヨリ出漁后五時半頃ヨリ魚ノ 餌付良好トナリ后四時頃海豚群ニ會ス后 十時揚繩ヲ了シ翌朝三前熊野ヘ歸泊ス	前九時熊野ヨリ出漁后五時半頃ヨリ魚ノ 餌付良好トナリ后四時頃海豚群ニ會ス后 十時揚繩ヲ了シ翌朝三前熊野ヘ歸泊ス	荒天休泊	前六時熊野ヨリ出漁全九時投繩后十時揚 繩ヲ了シ翌朝四時熊野ヘ歸泊ス	荒天休泊(熊野浦)	前八時油津港出帆后五時半熊野ヘ入港	荒天休泊(油津)	前五時油津ヘ入港漁獲物ヲ賣却ス	前九時熊野ヨリ出漁后一時投繩后十時半 揚繩終了翌朝五時熊野ヘ歸泊ス	前九時熊野ヨリ出漁后一時投繩后十時半 揚繩終了翌朝五時熊野ヘ歸泊ス

二十三	晴曇 北東	至前十二時半	三〇、八	一〇、五五	稍急 北	鹽イカ	三尾	三〇、四〇	前九時熊野ヨリ出漁全十一時半投縄后一時ヨリ后二時頃迄高潮時頃魚ノ餌付良好トナル
二十四						フキメ	四尾	二五、四〇	前一時半ヨリ全五時マテ機關ニ故障ヲ生シ沖合ニ漂廻ス前六時半熊野ヘ歸泊ス降雨甚タシク出漁ヲ見合ス
二十五	曇 東北東	至后十二時半	二七	二〇、三〇	北東 急	鹽鱈	二尾	五、五	荒天休泊(熊野)
二十六						メカザキ	二尾	二四、九〇	前九時半熊野ヨリ出漁正午延縄后九時揚繩了シ翌朝一時半熊野ヘ歸泊ス
二十七									機關故障ノ爲メ休漁
二十八									荒天休泊(熊野)
二十九									輕油其他餌料積込ミノ爲メ前九時熊野發
三十									鹿兒島市ヘ向フ后九時途中山川港ヘ寄港ス
三十一									前八時半山川港發后一時鹿兒島市入港
二月一日									鹿兒島港休泊
二									輕油其他必要品ノ積入ヲナス
三									荒天休泊(鹿兒島)
四									后四時卅分鹿兒島市出帆
五									后八時卅分山川ヘ入港
六									后六時半山川出帆后十一時半種子島北端
七									喜志鹿崎附近ニテ機關ニ故障ヲ生シ翌朝
自十八									十一野迄附近ニ漂廻ス
至									后六時三十分熊野ヘ入港
十一	晴曇 北	至后十時半	三	二〇、一〇	稍急 北	全キハダ	一〇尾	八、三一	荒天休泊(熊野)

前八時廿分熊野ヨリ出漁后一時頃ヨリ全四時迄及后六時ヨリ八時頃迄ニ鮪數尾ヲ釣獲ス



記事 十二月 昨年度ヨリ鯉漁好況ニシテ十二月中旬マデ從漁スルニ至リ同月中ニハ鮪漁ニ轉漁スル船ナク漁獲高割合ニ僅少ナリシモ初旬ヨリ

延繩漁業試験

計	二十五日	二十四日	二十三日	二十二日	二十一日	二十日	自十七日 至十九日	十六日	十五日	十四日	十三日	十二日
			晴曇 北西		雨	晴			曇			晴
			一	一	一	一			〇			一
			レ	タ	ヨ				カ			ワ
			自后十一時半 至后十時	自后十一時半 至后十時	自后十一時半 至后十時	自后十一時半 至后十時			自前十一時半 至后十時			自后十一時半 至后十時
			三	三	三	三			三			三
			三三	三三	三三	三三			三三			三三
									一〇六四四			一〇六三三
						不定			東急			稍北東
			捕鯉	捕鯉	捕鯉	全			捕鯉			捕鯉
雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ	雑トメカフメキ
ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ	ンカツ長カバハ
ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ	ガキチカチダ
一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾	一尾一尾一尾
			二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五	二二五
			一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇	一七二〇
前二時半熊野へ歸泊シ全九時半出漁急ニシテ方向一定セズ延繩ノ方向種々ニ變形シ緊張甚ダシク水温低ク漁獲少シ 前八時半油津へ入港漁獲物ヲ賣却ス 前十時油津出帆后八時廿分熊野へ入港 前八時半熊野ヨリ出漁 黄肌二十数尾ヲ釣獲セルモノモアリ稍好漁トナル 前一時熊野へ歸港ス前九時出漁セントセシモ風雨強ク途中ヨリ引返シ熊野へ歸泊ス 荒天休泊(熊野) 前八時廿分熊野ヨリ出漁后二時ヨリ四時頃迄メバチ六三尾釣獲ス潮流北東ニ急ナリ延繩緊張セリ 前六時半熊野へ歸港全八時半出漁潮流緩ニシテ延繩緊張スルコトナシ 前八時半日向油津へ入港漁獲物ヲ賣却后八時全港出帆熊野へ向フ 前七時半熊野へ入港前九時廿分全港ヨリ出漁潮流緩ナリ后三時ヨリ四時頃迄目録四尾釣獲 前三時半熊野へ歸泊ス 本年度鮪繩試験終了												

從漁セル數隻ハ屢々好漁ニ會シ捕數十尾數百圓ノ漁獲ヲナセルモノアリ表面水温ハ二十二三度内外ニシテ昨年ヨリ一二度高温ナリ
一月 例年二月ノ交ハ西ノ北西ノ強風多キモ本年ハ風向一定セズ北東ノ南風ニ降雨多ク氣温水温共近年ニナキ高温ヲ示セリ一月中ハ表面海水
温度二十一度乃至廿二度ニシテ昨年度ニ比シ二三度高ク潮流ハ北ノ東ニ急ニシテ種子島東海十二三浬乃至二十數浬ノ沿海ニテ弗々漁事續ケリ
二月 二月中ノ天候ハ一月ト同シク風向一定セズ風力強カラザレド雨天多ク表面水温ハ十九度乃至廿一度内外ニ下降シタリト雖モ昨年ニ比シ
尙ホ一二度高温ニシテ上旬ヨリ稍好漁ニ向ヘリ中旬ヨリ下旬ニ互リ盛漁期ニ入りタルモノ、如ク一日一航海捕二三十尾千圓以上ノ漁獲ヲ見タ
ルモノ多ク一時盛況ナリシモ盛漁季ニ入りタルヲ以テ從漁船ノ過半ハ二月末ニテ終漁セリ
本年度捕獲從漁船ハ(發動船)縣内船七隻縣外船ヲ合シ二十餘隻ニシテ漁場ハ種子島東海十二三浬乃至廿五六浬ノ沿海ニテ好漁ヲ見沖合ニ出漁セ
ルモノハ不漁ナリキ捕ノ種類ハ黃肌目鉢ニシテ「トンギ」捕ノ漁獲實ニ僅少ナリ而シテ例年回遊スルサンマノ群來ヲ見ズ各船共從漁二ヶ月ニシテ
三千圓乃至五千圓ノ漁獲ニ達セリ

小型發動機船漁業試驗

沿岸漁利ノ拾收小規模漁業ノ革新ヲ圖ラントシ大正三年度小型發動機船松島丸(長四十尺幅八尺深三尺五寸上下裝置
付發動機八馬力据付)ヲ建造シテ各種漁業ノ調査試驗ヲ爲スコト茲ニ四ヶ年何レモ良好ナル成績ヲ收メ新漁場ノ試驗
及漁業ノ改良ニ貢獻スルトコロ多カリシガ本年度モ之ヲ繼續施行セリ逐年本場ノ成績ニ則リ民間同種漁船ヲ建造スル
モノ漸ク多ク本年度迄ニ現ニ漁業ニ從事セルモノ八隻將來益増加ノ趨勢ニ在ルハ縣下漁業界ノタメ欣幸ニ堪ヘザルト
コロナリ以下本年度施行ニカ、ル各種試驗ノ經過並ニ成績ヲ記述スベシ

一、鯖釣漁業試驗

試驗ノ趣旨 本試驗ハ大正四年度ヨリ開始シ屋久島及朝鮮釜山沖等ニ試驗シ近年ハ本縣南方海面ノ漁場ヲ專ラト
シ本年ニ在リテハ口永良部島ノ北東梅吉會根、屋久島北側ノ屋久會根、佐多岬沖ノ三方會根ニ於テセリ之等ハ風ニ知ラ

レタル鯖ノ群集漁場ニシテ從來ハ帆船操業ナルヲ以テ之ニ小型動發船ヲ用キ操業上ノ利便ヲ發揮シ且經濟關係ヲ明カニスルヲ目的トシ施行セリ

試驗經過

試驗船ハ機關部員三名ノ外漁夫七名及試職員一名乘組ミ山川港ヲ根據トシ毎夕刻漁場ニ達シ瓦斯集魚燈ヲ兩舷各三個點燈シ鹽鰯又ハ鹽鰻(タレクチヲ可トス)ヲ餌トシ手釣ヲ爲ス方法ニシテ大正七年三月十一日ヨリ着手シ同四月十一日迄ハ梅吉會根ニ同五月三日迄ハ梅吉會根又ハ屋久會根ニ爾後五月末迄ハ三方會根ニ出漁シ前後八十一日中二十五回從漁シ鯖一萬二千三百五十尾羽鰹十四尾鰻一尾ヲ得多クハ山川港ニ賣却シ價格九百十六圓ヲ得タリ

本年ハ前年ニ比シ從漁期ヲ繰上ケ三月中旬ヨリ着手セシニ梅吉會根ニ於ケル漁季ハ所謂「三月濁」ノタメ海水涸濁シテ水溫下降セシタメ魚群ノ浮上少ク屋久會根ニ於ケル期間モ尙ホ其影響ヲ受ケ同様ノ傾向アリ三方會根ニ於ケル頃ハ漁場全ク恢復シ水溫モ昂マリ魚群多ク出漁毎ニ可ナリノ漁獲アリ末期尙ホ魚群ハ多カリシモ次ノ突捕試驗ニ移ルタメ五月末ヲ以テ終漁シ前記漁獲ヲ爲シタルニ止マリシモ爾後ノ漁況ハ益好良トナリ六月末迄ニ及ヒ一般漁船ハ豐漁ノ狀態ヲ持續セリ

試驗成績

本年ノ漁獲ハ前記スル如ク末期好況ナラントスルニ際シ他試驗ニ移ルタメ終了スルノ止ムナカリシヨリ漁獲高ハ前年ヨリ稍ヤ減セルモ價格ハ魚價騰貴ノタメ増加シ收支差引ノ計算ハ末項記セル如ク利益金二百五十四圓ヲ得本船ニ由ル操業ハ出漁回数ヲ増加シ潮上ニ機走シ「流シ釣」ヲ繰返シ得ルヲ以テ帆船ニ比シ著ルシク利漁ヲ増加セリ

鯖 釣 漁 業 表

大 正 七 年 度

松・島 丸

月、日	天候	風位	風力	符號	漁場	漁具	使用時	水面	表面比	比重	潮流	流向	流速	餌料種類	漁獲	種類	數量	平均重量	價額	摘	要
大正七年三月十一日	晴	西	二																		

前九時鹿兒島港解纜谷山へ寄港シ諸準備ヲ整ヘ午後三時山川港ニ入ル

[illegible]

四月一日	晴	北東	自后七時半 至前五時	一七、五	一〇、七五〇	東北東	タレクナ	鯖	四、八八〇	后三時口永良部島發梅吉曾根從滿畫間結 ノ飛躍スルモノ多カリシモ一般ニ餌付不 良ナリ終漁后口永良部ニ向フ
二日	晴	北西	自后七時 至前一時	一七、七	一〇、七〇〇	東南東 急	タレクナ 鯖仔	羽	四、五〇〇	后四時口永良部發梅吉曾根從滿潮流濁 シ一尾ヲモ獲ズ
三日	曇	北	自后七時 至后八時半	一七、〇	一〇、五九二	北東緩	タレクナ			口永良部島休泊
四日	曇	東北東	自后七時 至后八時半	一七、〇	一〇、五九二	北東緩	タレクナ			梅吉曾根從滿海況依然タリ從滿セルモノ 帆船四五隻何レモ漁獲無シ時化模様ニツ キ山川港ニ向フ
自十五日	晴	北	自后七時 至后八時半	一六、四	一〇、六六六	北東 急	全	鯖	八、三〇〇	前八時山川港發梅吉曾根從滿餌付良好ナ リシモ漸次高浪トナリ從滿困難ニツキ中 止十一時口永良部島ニ避泊他漁船漁獲無 シ梅吉曾根連日漁況不振ニツキ屋久曾根 ニ出漁ス漁獲無ク漸次高浪トナリタルニ ツキ九時一湊ニ避難ス
十一日	曇	北	自后七時 至后八時半	一七、〇	一〇、五九二	北東 急	全	鯖	八、三〇〇	荒天休泊(一湊)
十二日	曇	東	自后七時 至后九時五分	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	高浪ノ爲一湊川内ニ碇泊后十時滿潮時ニ 際シ出帆屋久曾根從滿滿流ニシテ一尾ヲ モ獲ザル漁船多シ
十三日	晴	北々東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	機關故障發見修繕ノ爲后三時一湊發鹿兒 島ニ向フ
十五日	晴	北東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	前六時鹿兒島港着機關修繕ニ着手ス
十六日	晴	北東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	機關修繕ノ爲鹿兒島港碇泊
十七日	晴	北東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	機關修繕ノ爲鹿兒島港碇泊
十八日	晴	南東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	后一時鹿兒島港發六時山川港ニ入ル
十九日	晴	南東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	荒天休泊(山川港)
二十日	晴	南東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	
自二十一日 至二十六日	晴	南東	自后十時 至前三時	一七、〇	一〇、五九二	東緩	全	鯖	九、二〇〇	

小型發動機船漁業試験

二十七	日	雲	東	自后七時 至前四時	二、五 一、〇五〇	東急	タレクチ	鯖	五〇尾	二五	三、七〇〇	前七時山川港發、梅吉曾根從流、潮流清澄ナルモ頗ル急ナリ、波浪多キ爲操業容易ナラズ出漁船無シ
二十八	日	雨	南東									口永良部ニテ漁獲物ヲ賣却ス
二十九	日	計						羽鰹	三六尾 二尾	〇、五〇〇	〇、五〇〇	荒天休泊(口永良部島)
五月一	日	雲	西南西									口永良部島休泊
二	日	晴	西北西	自后七時 至前零時	二、八 一、〇五〇	北東緩	全	鯖	四〇尾	二〇〇	六、六〇〇	梅吉曾根從流、潮流緩ニシテ清澄ナリ
三	日	雲	南	自后七時 至后九時	三、六 一、〇五〇	全	全					午前口永良部ニテ漁獲物賣却、夜梅吉曾根從流風浪激シク從流困難ニツキ九時終漁山川ニ向フ
四	日	雲	南									前四時山川港着
五	日	晴	西									山川港休泊
六	日	雲	東	自后七時 至前七時	二、七 一、〇五〇	東急	タレクチ	鯖	一七尾	一六	二、三〇〇	后二時山川港發、五時三方曾根着從流各漁船共相應ニ流獲アリ
七	日	晴	西	自后七時 至前零時	三、八 一、〇五〇	全	全	羽鰹	四四尾 四尾	一六	六、三〇〇	島泊ニテ漁獲物賣却、夜三方曾根從流潮流急ニシテ帆船ノ多クハ夜半ヨリ引揚ゲタリ
八	日	雲	東	自后七時 至前四時	三、五 一、〇五〇	全	全	鯖	二八尾	一六	一、〇〇〇	島泊ニテ漁獲物賣却 后四時半島泊發三方曾根從流 波浪大ナリ 一般ニ好漁
九	日	雨	東									朝來風雨激シク荒天ノ模様ナルニヨリ島泊ニテ漁獲物賣却ナリ山川ニ向フ后零時半到着
十	日											荒天休泊(山川)
十一	日											后二時半山川港發、七時半三方曾根着從流、前零時頃ヨリ降雨トナル
十二	日	晴	南	自后七時半 至前一時半	三、五 一、〇五〇	全	タレクチ	全	五五尾	一七	六、五〇〇	

計	十三日	十四日	十五日	十六日	十七日	十八日	二十九日	二十一日	二十二日	二十三日	二十四日	自二十五日至二十八日	二十九日	三十日
	曇	曇	晴	雨	雨	曇	曇	曇	曇	曇	晴	晴	晴	晴
	西	北	北東	北東	北東	南	南	北西	北西	東	東	西	西	南
	子	ソ	ツ					ナ	ラ	ム	ウ		井	
	至前七時	至前八時	至前八時半			至前七時		至前八時	至前八時	至前七時半	至前八時		至前六時半	
	一九〇、一〇六六	一九〇、一〇六六	二〇五、一〇六九			一九八、一〇六八		二〇三、一〇七三	二〇三、一〇七三	二〇一、一〇六九	二〇五、一〇六八		二〇一、一〇六九	
	東緩	東南東緩	東急			東緩		全	北東緩	東緩	北東急		北東緩	
	全	全	全			全		全	全	全	全		全	
羽鰹	鰹	鰹	全					鰹	全	全	全		全	
尾	二〇〇尾	二〇〇尾	二〇〇尾					二〇〇尾	二〇〇尾	二〇〇尾	二〇〇尾		二〇〇尾	
	一七三	一七三	一六六					一六六	一六六	一六六	一七〇		一七六	
	四、五〇〇	四、五〇〇	四、五〇〇					三、一〇〇	二、四八〇	一〇、二四〇	四、〇〇〇		一三、五〇〇	六、五〇〇
田尻ニテ漁獲物賣却西ノ強風ニツキ休泊 后五時田尻發、三方曾根從漁、海上極メテ靜穏ナリ、夜半以後餌付不長トナル 三方曾根從漁、月明ノ爲稍餌付不長、浪ハ良好トナレリ 前六時島泊歸着、降雨トナリ北東ノ風強シ后六時山川港ニ入ル 山川港休泊 后四時山川港發三方曾根ニ向フ、ウチリ大ニシテ操業困難ナリ僅ニ二三尾ヲ獲タルノミ終漁后山川港ニ向フ 荒天休泊(山川) 后二時半山川港發、六時三方曾根着從漁北西ノ風強ク波浪アリ終漁后島泊ニ向フ 后四時島泊發、三方曾根從漁 后四時島泊發、三方曾根從漁 三方曾根從漁、終漁后山川港ニ向フ 前九時山川ニ入ル 荒天休泊 后二時半山川港發、三方曾根從漁、出漁船少ナシ 潮流稍濁リ一般ニ薄漁ナリ 山川ニテ漁獲物賣却ノ上鹿兒島ニ向フ本日ヲ以テ本試驗ヲ終了ス														

小型發動機船漁業試験

三四

通計

羽 鯖 二二五〇
鰹 一四〇〇
六、五五〇
〇、五〇〇

記事

梅吉曾根ニ於ケル漁期ハ三月初旬ニ始マリ海水清澄ニシテ水温二十度内外潮流緩ニシテ若干ノ漁獲ヲ揚ゲタリシモ中旬以降潮流頗ル急トナリ帆船ノ操業容易ナラズ下旬ニ至リテハ海水濁濁ナ來シ透明度平常ニ比シ四五尋ノ差アリ水温著シク低下シテ十七度内外トナレリ四月ニ入りテモ海水ノ濁濁ハ依然トシテ回復セズ水温ハ更ニ十六度内外ニ下降セリ下旬ニ至リテハ荒天續キニテ殆下出漁ノ機會ナカリキ而シテ中旬ヨリ鰹漁魚ノ洄游ヲ見小型發動機漁船ニシテ鰹釣漁業ヲ中止シテ鰹釣ナナシ或ハ種子島近海ニ鰹延縄ヲ試ムルモノ相亞イデオコレリ中旬屋久曾根ニ轉ジタルモ海況梅吉曾根同様ニシテ漁況振ハザリキ下旬ニ至リ佐多岬方面ハ漸ク漁期ニ入りタルモノ、如ク各漁船共若干ノ漁獲ヲ揚ゲタリ五月ニ入りテハ梅吉曾根方面潮流漸ク清澄トナリ海況舊ニ復シタルモ同漁場ハ已ニ漁期終リ漁無カリキ三方曾根ハ五月以降盛期ニ達シ出漁毎ニ相當ノ漁獲アリ天候亦順調ニ復シタル爲出漁日數モ大ニ増加セリ

収 支 計 算

自大正七年三月十一日八十一日間 從漁日數二十五日
至全 年五月三十日

收 入

一金九百拾六圓貳拾參錢

銷 賣 却 手 取 金

支 出

一金六百六拾壹圓參拾七錢

從 漁 間 諸 經 費

内 譯

金百四拾參圓七拾五錢

輕 油 五 拾 五 罐

金五拾壹圓九拾錢

マ シ ン 油 拾 壹 罐

金貳圓四拾五錢

ウ エ ス 拾 反

金貳圓八拾五錢

燈 油 壹 罐

金八圓七拾錢

金壹圓六拾五錢

金拾七圓六拾八錢

金五拾四圓貳拾錢

金七拾圓貳拾參錢

金貳圓拾六錢

金壹圓六拾五錢

金參百四圓拾五錢

差引

一金貳百五拾四圓八拾六錢

種子油壹罐

機關部雜品

食鹽拾參俵

カーバイト六罐

餌料鯉千百九拾貳斤八斗

氷參拾六貫

雜品

船員給料

利益金

二、突捕漁業試驗

試驗趣旨

本縣沿岸ハ四時暖流ノ洗フ處ニシテ旗魚ヲ始メトシ鰺鰾等ノ浮魚類比較的多ク之等ハ突捕漁業トシテ相當利益アルモノニシテ本縣ニテハ末ダ其ノ經營ヲ見ザルモ千葉縣地方ニ於テハ此種漁業最モ發達シ近年ハ動力付漁船ヲ之ニ應用スルニ至リ各船一漁期間ヨリ三千圓乃至五千圓ノ漁獲ヲ揚グツ、アリ本場ハ沿岸小規模漁業ノ開發ヲ目的トシテ大正三年度松島丸ヲ建造シ鯖釣旗魚延繩瀬物延繩等ニ應用シテ何レモ經濟上有利ナル成績ヲ舉ケ來リシカ夏季六七月ノ交ニ於ケル現在ノ休業期ヲ利用シテ突捕漁業普及ヲ計リ更ニ完全ナル週年行事ヲ定ントシ本年度初メテ千葉縣ヨリ熟練ナル漁夫二名ヲ招キ先ヅ之ガ豫察的試驗ヲナセリ

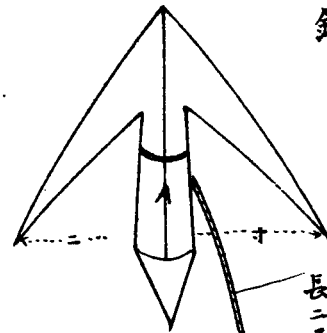
漁 法 漁船ハ松島丸(長卅八尺八馬力速力五、五哩)ヲ使用シ乗組員機關部突手共九名トシ船首ニ特ニ櫓ヲ裝置シ突手ノ座席トシ鉛竿、矢繩櫃、餌函ヲ備ヘ早朝出漁シ漁場ニ至レバ突手ハ船首ノ櫓ニ漁夫五名ハ適當ノ場所ニ起立シ各自日避ケ鏡ヲ懸ケ魚ノ浮游ヲ凝視スルストス魚ノ浮游ヲ認ムレバ船ハ全速力ヲ以テ巧ニ魚ノ前方ニ廻リ旗魚鱒ナレバ船首餌函ノ鹽藏鯖若クハ鹽藏鰯ヲ投ジ魚ヲ船首二三間ノ所ニ誘致シ置キ投鉛ス此間船ノ操縱頗ル機敏ヲ要スルヲ以テ舵手ハ熟練ヲ要スルモトス鉛ノ魚ニ適中スレバ矢繩ヲ操出シ一方傳馬船ヲ下ロシ漁夫二名同船ニ乗り移リ操業ス魚ノヒルムヲ俟チ徐々ニ矢繩ヲ操入シ魚ヲ傳馬船ニ曳上グ其間魚ノ大小強弱ニ依リ三十分乃至二三時間ヲ要スル事アリ尙ホ一方本船ハ更ラニ他方面ニ魚ヲ追ヒ前方法ヲ繰返スモノトス(漁具別圖參照)

試驗經過 船首ノ機裝其他諸準備ヲ整ヘ鹿兒島港ヲ解纜シタルハ六月二十三日ニシテ佐多岬附近、種子島屋久島硫黃島野間岬方面等ヲ探查セシニ旗魚ノ浮游スル頃トシテハ時季未ダ早ク海上冥々タルモノナリキ恰モ甌島珊瑚水產組合ヨリ珊瑚探檢ノ要請アリシカバ一先ヅ之ガ請ヲ容ルル事トシ七月十四日ヨリ八月四日ニ至ル間主トシテ右事業ヲ施行セリ爾後再ビ試驗ヲ開始セルガ此頃ヨリヤ、旗魚ノ浮游時期ニ入レルモノノ如キモ其ノ數多カラズ且ツ該時期ハ天候常ニ平穩ニシテ風浪少ク遇々魚類ニ會スルモ知覺銳敏ニシテ接近スル事難ク僅カニ旗魚一尾、鰭一尾、海豚一尾計金六拾圓ヲ得豫定期間ヲ終了セルヲ以テ八月廿四日歸港セリ

試驗成績 本試驗ノ結果ニ由レバ本縣ノ如ク比較的浮魚多キ海面ニアリテモ海水清澄ニシテ夏季水面平穩ナル時期ニアリテハ充分ナル好果ヲ擧グルコト難ク漁獲ハ常ニ風波強ク海面喧騒シ魚ノ知覺銳敏ナラザル際ヲ俟タザルベカラズ從テ夏季ノ操業日數僅少ナルト且ツ當時本縣沿岸ノ魚群ハ爾カク多カラズ漁業經濟上到底專業タルヲ許サズシテ副業的ニ經營スベキモノノ如キモ秋冬ノ候旗魚延繩盛期中海水潤濁スルカ餌料ニ付カズ徒ラニ水面ニ浮遊スル時期ニ際シ隨時本漁法ヲ適用スルヲ最モ有利ナル漁法ト思料セラル、ナリ

突捕漁具

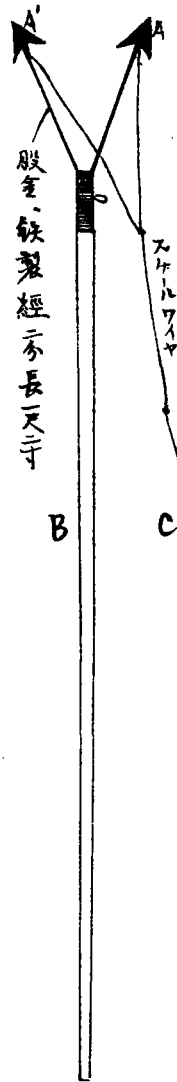
A 鉈



長二尺麻三紐又せきやま

中筋より三寸入ノリケルワイヤセ又ハ
銅線ヲ附シ其端ヨリ突出シテ焼カ

B 鉈竿 長一丈三尺五寸上等桎材

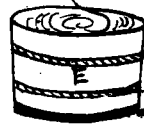


C 突出シ 上等麻製經二分(尋三寸三分五分) 長四十尋トス

D ヤナワ(鉈綱) 上等麻製ニ子燃(元)經九重(一尋三寸一三分五分)

長三百五十尋トス

E 繩鉢 蓋付中木桶經一尺及内外ニシテヤナワヲ納ム



突捕漁業試驗日誌

六月廿二日 本日ヨリ突捕漁業試驗ヲ開始ス正午鹿兒島港解纜山川港ニ向フ途中降雨斷續シ午後五時四十分入港

同 廿三日 終日疾風山川港休泊

同 廿四日 終日豪雨南風烈シク休泊

同 廿五日 南風烈シク時々豪雨アリ波浪大ニ付休泊

同 廿六日 時々驟雨アリ風勢ヤ、衰ヘタルモ尙ホ出漁不可能ニ付休泊

同 廿七日 午前八時山川港出帆鹿兒島灣口並ニ竹島附近ヲ探海ス旗魚鯨各數尾ヲ見ルモ海面平穩ニシテ水色清澄ノヲメ舉動鋭敏ニシテ近寄ルヲ得ズ漸ク鯨一尾ヲ獲夜ニ入り岬曾根ニテ餌料用鰭釣ヲナシ百數十尾ヲ獲同十時續斷觀測ノ爲メ火崎沖ニ向フ

同 廿八日 午前五時火崎ニ達シ南東ノ針路ヲ取りテ續斷觀測ヲ施行ス潮流東ニ急ニシテ歸航ノ困難ナルベキヲ慮リ三十分航走ノ後觀測ヲ中止シ十一時半針路ヲ種子島ニ取ル七時西表入港本日終日濃霧アリ旗魚ニ會スル一尾海況寛タリ

同 廿九日 午前九時種子島西表港出帆終日同沖並ニ屋久島沖ヲ探索セルモ鯨一尾ニ會セルニ過ギズ午後四時頃ヨリ屋久島一湊ニ向ヒ假泊ス

同 三十日 午前八時一湊出帆口永耳部島附近並ニ竹島附近ヨリ鹿兒島灣口一圓ヲ索リシモ旗魚ニ會スル一尾ニ過ギズ午後七時島泊ニ假泊ス本日北西ノ風ニツレ波浪アリ操業ニ好適ノ日和トス

七月一日 午前八時島泊出帆開闔岳沖合ヨリ鹿兒島灣口ヲ離航シ揖宿沖ニ至リ途中鯨一尾ニ會セルニ過ギズ午後四時山川入港

同 二日 午前中ハ機關ノ掃除ニ費シ午後出港セルモ山川灣外ニ於テ機關ニ故障ヲ生ジタルヲ以テ假泊シ修繕中午後三時ニ及ベルヲ以テ出漁ヲ中止シ同四時山川港ニ入ル

同 三日 午前六時五十分山川港出港佐多岬ノ南西約二哩ノ點ニ於テ「マカシキ」一尾ヲ發見シ約四十五分ヲ費シ突捕ス夫ヨリ同沖潮流ノ程ヲ離航スルモ見ズ

午後二時四分ヨリ灣内ニ入り探海旁ヲ流獲物處理ノ爲谷山ニ向午後八時四十分到着夜ニ入り降雨トナル

同 四日 午前七時半谷山出帆鹿兒島市ニ到リ前日ノ流獲物ヲ賣却ス

同 五日 午前八時半鹿兒島港發佐多岬附近ヲ探リ旗魚一尾ヲ發見セルモ突捕スル能ハズ午後七時山川港入港

同 六日 午前九時半山川港出帆佐多岬沖合ヲ探リシモ潮急ナルヲメ航行容易ナラズ后一時頃海豚一尾ヲ突捕夕方ヨリ降雨トナル後八時半山川港入港

同 七日 降雨無風海上平穩ニ過ギ突捕漁業ニ適セズ山川港休泊

小型發動機船漁業試驗

三七

小型發動機船漁業試験

三八

- 同 八日 午前九時山川發佐多岬沖合ヲ探リシモ魚ニ會セズ十一時頃ヨリ開聞岬ニ向テ搜索ヲ續ケシニ午後一時頃海豚群ニ會シ突捕ル午後七時五十分門浦ニ着シ漁獲物ヲ賣却セントセシモ買入ナシ
- 同 九日 午前八時門浦發同港沖合ヨリ坊岬沖合ニ至ル海上ヲ探リシモ漸ク鰻一尾ヲ發見セルニ過ギズ
- 同 十日 午前七時久志發同沖合ヨリ山川港沖合ニ至ル間ヲ搜索ス正午白澤沖合ニテ鰻車魚一尾突捕ル午後五時五十分山川港着
- 同 十一日 降雨午後一時頃ヨリ南東ノ強風雨トナル山川港休泊
- 同 十二日 降雨前夜來風位北西ニ變シ強シ
- 同 十三日 午前八時半山川港出港佐多岬附近竹島ノ北東ヲ探ルウチ大ニシテ陸岸附近ハ水色著シク濁リ山川港口以南海島ノ飛躍スルモノ多ク潮流急ナリ午後六時山川入港
- 同 十四日 飯島珊瑚水産組合ノ要請ニ係ル該探檢事業ノタメ本日ヲ以テ一先打切り山川港碇泊諸準備ヲ整フ
- 八月五日 珊瑚探檢事業昨日ヲ以テ終了本日ヨリ再び突捕漁業試験ヲ開始シ午前六時四十五分飯島手打港發探海シツ、枕崎ニ向フ朝來霧深ク野間岬附近ハ潮流ノ接衝點トナリ波混濁セリ坊岬ヨリ秋目島附近ニ至ル間旗魚數尾ヲ發見セルモノヲ逸セリ
- 同 六日 午前八時半枕崎發探海シツ、午後五時半屋久島粟生ニ到ル
- 同 七日 粟生碇泊船體ノ掃除及外舷塗換作業施行
- 自同八日 西強風粟生休泊
- 至同十一日
- 同 十二日 午前六時粟生發探海シツ、午後八時山川港ニ入ル
- 同 十三日 南ノ強風降雨山川港休泊
- 同 十四日 船員乗船ノ都合上山川港休泊
- 同 十五日 午前六時山川港出帆同沖合ヨリ野間岬沖合ニ至ル海面ヲ探リシニ旗魚十數尾ヲ發見セシモ海上平穩ニ過キ知覺鋭敏ニシテ船近ツケバ忽ニシテ沈降シ突捕ヲ得ズ久志灣沖ニ於テ海豚一尾ヲ突捕ル午後六時四十五分野間池着
- 同 十六日 午前六時半野間池發同沖合ヨリ東加世田村小湊沖合ニ至リ海上ヲ探リ旗魚一尾ヲ發見セルモ風風ミ突捕容易ナラズ午前十一時四十分小湊着
- 同 十七日 午前八時十分小湊出帆白澤津沖合ニ到ル海面ヲ探リ二三尾ニ會セルモ突捕ヲ得ズ午後六時枕崎港着
- 同 十八日 午前十時三十五分枕崎港ヲ出帆ス同港沖合ニテ旗魚一尾發見セルノミ夫ヨリ南東海上ヲ探リツ、山川港沖合ニ到ル午後六時山川港着
- 同 十九日 午前七時半山川港發坊津沖合ニ至ル海上ヲ探リシモ途中海豚一尾ヲ突捕リタルノミ午後六時四十五分坊津着

同 二十日 午前中降雨甚シク南西ノ風強シ坊津ニ假泊午後二時坊津發南西沖合ヨリ探海シツ、小湊沖合ニ至ル尙浪高ク時々雨ヲ來シ航行困難ヲ感ズ午後六時小湊着

同 廿一日 前日同様南西ノ強風ナリ午前九時十五分小湊發羽島沖合ニ涉リ探海ス午後四時串木野島平着

同 廿二日 強風收リ晴天トナル午前九時十五分島平發羽島沖合ヨリ久志灣口沖合ニ至ル海面ヲ探ル

同 廿三日 午前七時十五分久志發南東沖合ヨリ鹿兒島灣口沖合ニ到ル海面ヲ探リ稚兒水沖合ニテ鱧一尾ヲ發見シ船ヲ近クシモ忽チ水中ニ没セリ午後六時山川入港

同 廿四日 午前九時四十分山川港出帆鹿兒島灣内ヲ縫航シ正午頃海豚一尾ヲ突捕ル午後三時三十分鹿兒島港着本日ヲ以テ突捕漁業試驗ヲ終了ス

三、珊瑚新漁場調査

本縣ノ珊瑚漁業ハ去明治三十一年鹿島珊瑚組合起リ縣外ヨリ採收船ヲ招致セシヨリ勃然トシテ旺盛ヲ極メ同四十二年ヨリ大正元年迄ハ毎年三十六萬圓乃至四十萬圓ニ達シ漁場ハ甌島ノ南鷹之島ヨリ宇治草垣島ニ及ビ又佐多岬沖ニ漁業セシモ爾來年々減少シ大正六年ニ於テハ五萬五千圓ニ下リ漁場モ僅カニ宇治草垣島近海ニ縮少シ樹種モ多クハ落木ニシテ新生ノモノ、採收セラル、コト稀ナリ本縣珊瑚水產組合之ガ挽回ニ腐心シ先ヅ探見船ヲ出シ豫察的調査ヲ爲シ其結果ニ因リ組合漁船數十隻ヲ以テ總探見ヲ行ハントスルノ舉アリ依テ本場ハ同組合ノ請ニ應ジ所屬松島丸ヲ以テ豫察調査ニ從事スルコト、ナリ去大正五年度實行シ同六年ハ中止セルモ本年度ニ於テ第二回ノ新漁礁調査ニ着手セリ

調査經過 大正七年七月二十四日本縣珊瑚水產組合所在地甌島手打港ニ廻船同組合ヨリ本漁業ニ經驗アル漁夫四名乗組珊瑚網ヲ準備シ同三十一日口永良部島ノ西北梅吉曾根ニ向ヒ爾后黑島、硫黃島、湯瀬等ニ互リ九回使網シ八月四日手打港ニ歸着セリ爾后本船ハ他試驗ニ移ルノ豫定アルタメ續行スルニ至ラザリシ

調査成績 今回ノ調査ハ僅々四日八回ノ使網ニ過ギズ他試驗ニ移ルタメ續行スルヲ得ザリシタメ一部ノ調査ヲ爲セシニ止マルモ梅吉曾根ニハ桃色珊瑚ヲ得黑島ニテハ赤珊瑚及白赤等ノ落木ヲ得何レモ珊瑚ノ栖息アルヲ明ニシ就中黑島